

【目的】

係止部(一般割り)はバランス良くエジェクタピンを設定しないと、変形やピンの喰い込み不具合が発生してしまう

(特に、楕円係止部【タイプA,E】の羽根先端はエジェクタピンを設定しないと、離型抵抗により羽根が変形し客先流出不具合に繋がる)

エジェクタピン設定時の基本配置を定め、不具合の発生を防止する

【適用範囲】

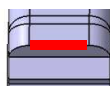
係止部(一般割り)形状を有する金型

【内容】

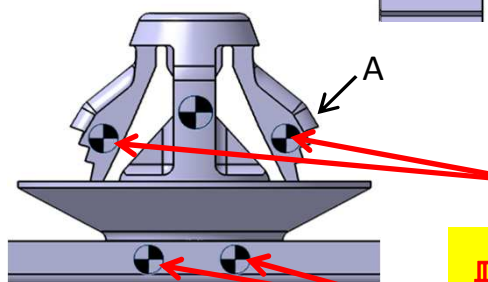
係止部(一般割り)エジェクタピン設定時の基本配置

係止部タイプA (1段爪)
係止部タイプE (多段爪)

A矢視



ストレートあり



羽根先端にエジェクタピン設定の事(必須)
羽根にストレートが有り離型抵抗が大きい為
(但し、羽根先端にφ1.2以上のエジェクタピン
設置スペースが確保出来ない場合は適応外)

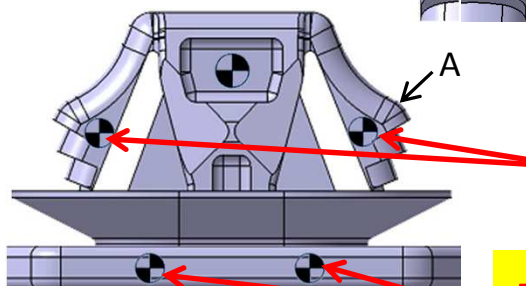
皿部の下にエジェクタピンを2本以上設定の事(ピン喰い込み対策)
(但し、ピンの断面積が4.0cm²以上ある場合は1本でも可)

係止部タイプH (1段爪)
係止部タイプJ (多段爪)

A矢視



フルR



羽根先端にエジェクタピン設定の事(任意)
羽根にフルRが付いており離型抵抗が少ない為

皿部の下にエジェクタピンを2本以上設定の事(ピン喰い込み対策)
(但し、ピンの断面積が4.0cm²以上ある場合は1本でも可)

4					承認	審査	起案
3					2019/12/9	2019/12/9	2019/12/9
2					岩瀬	矢野	杉浦
1							
符号	改訂内容	改訂日	承認	作成			

【配布先】 なし(仕様確認用)

仕様標準は適用範囲が製品形状・金型構造に特化した標準の為、適用可否判断及び詳細不明の際は、上司に確認する事